

一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会東海連盟
第25回北陸中日新聞旗争奪新人選手権大会 名古屋ブロック予選実施要綱

1. 主催 一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会東海連盟 名古屋ブロック
2. 主管 一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会東海連盟
3. 大会日程 6/18 (土)、19 (日)、25 (土)、26 (日) 予備日7月23 (土)・24 (日)
4. 会場 6/18 (土) 愛知西グラウンド、 6/19 (日) 額田グラウンド
6/25 (土) 名古屋北グラウンド 6/26 (日) 未定
7/23 (土) 未定、7/24 (日) 未定
5. 出場チーム 名古屋東、名古屋南、愛知西、名古屋北、知多、知多東浦、名古屋西
6. チーム編成 監督(30) コーチ(40)・(50)・(60)・(70) スコアラー1名
但しベンチ入りコーチは上記のうち2名 選手25名以内
7. 競技規則 2022年度公認野球規則及び日本リトルシニア野球協会運営規定に基づく。
8. 試合球 ゼット 試合毎に各チーム3個提出

大会実施要綱(その2)

【競技規則】 2022年度公認野球規則及び日本リトルシニア野球協会野球規則に基づく

1. 試合開始時間について

1日3試合の場合 9時00分 11時00分 13時00分

1日2試合の場合 10時00分 12時00分

但し、ダブルヘッダで連続した試合の場合、試合終了後40分の休息時間を設ける。

前の試合の4回終了時メンバー表の交換を実施します。

2. 大会規則 同点の運用について

ゲームの成立は、5回をもって成立とする。2時間もしくは7回終了時点で、同点の場合はタイブレーク(1死満塁)を採用し、最大3回までとする。決着が着かない場合は、最終出場選手18名による抽選とする。

なお、コールドゲームは4回10点差及び、5回以降7点差をもって成立する。

代表候補決定戦は2時間制限を適用せず、7回終了時同点の場合は2回延長の9回までとする。

9回終了時なお同点の場合は、10回からタイブレークとし、勝敗が決着するまで行う。

3. 投球数制限

- ・2022.2.15Ver 「リトルシニアの統一ガイドライン」に準ずる
- ・2022.2.15.Ver<様式B>の<1試合用>に記入例にならない、各チーム記録員が記入
- ・勝者チームは2022.2.15Ver<様式A>支給用紙に様式Bより転記、担当理事、責任審判監督三者の確認サインを受け以降の試合に使用する。2日の連続試合では<様式A>に

翌日の「投球可能数」を事前記入してコピー3部を本部席に提出、試合が1日以上空く時はコピー提出不要。（同日決定戦試合は<様式A>にてトス時に開示する）

4. 審判員について

東海連盟審判部及び各チーム2名（4級及び3級ライセンス者）登録審判の方。登録カード持参のこと。下記取り回しに基づき1試合目チーム審判は開始1時間前集合。2・3試合目のチーム審判は前の試合の（3回終了後）に審判席に集合し、事前打ち合わせを行う。

① <試合会場が3試合の場合>自チームが ② <試合会場が2試合の場合>自チームが
第1試合のチームの場合 第2試合を審判 第1試合のチームの場合 第2試合を審判
第2試合のチームの場合 第3試合を審判 第2試合のチームの場合 第1試合を審判
第3試合のチームの場合 第1試合を審判

5. 記録関係

各チーム記録員として投球シートと連盟様式の試合結果用紙に内容を記入する事。

当日最終試合のチームは、試合結果、得点、試合時間を所定の書式に記入後本部へ提出下さい。

6. その他

- ・球場当番チームは、審判員へのお茶出し（一塁または三塁入口にクーラーBOX）をお願いします
- ・3塁側チーム（老番）が、得点板及びBSO記録をお願いいたします。
但し表示設備仕様が分割の場合は1塁側チームで得点表示をお願いします。

【厳守事項】

1. 当日受付時での必須提出書類

- ・「公式戦用メンバー表」「選手登録カード」「指導者カード」「健康チェックシート」
「投球数確認シート」
- ・大会選手登録書については事前提出を必要とせず、当日提出頂く連盟公式戦用メンバー表の提出を以て運用する

2. 指導者について

- ・指導者登録カードが無い指導スタッフの方はベンチ入りできません
- ・スコアラーはスポーティーな服装で入り、スコアラーの仕事のみ行う。選手の場合はユニフォームでも可とする。

3. 登録カード並びに提出受付時に健康チェックシートを提出ください。